





区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	11	89								
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	67	33								コロナ禍の状況でも、できる範囲で取り組めるように努める。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	67	33								
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	33	67								コロナ禍の状況でも、できる範囲で取り組めるように努める。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	45	44	11		19	6	6	69		利用者様の意見も大切にして、考えていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	11	56	33							利用者様の意見も大切にして、考えていく。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	89	11			100					
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	78	22			100					
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	78	22			81	6		13		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	89	11		情報交換をどのような手段で行うか、ツールを増やせるように考えている。	100				利用した日は、情報交換がきちんとできている。	情報伝達の手段としてLINEなどを活用し、コロナ禍の状況も踏まえて対応している。
	5	89	11			94	6			面談、相談等ができている。	
	6	67	33			25	6	25	44	・新型コロナウイルス感染症の影響も考えると難しいと感じる。必ずしも必要かわからない。 ・制度的に目的がわからない。	
	7	89	11			63	12		25	苦情を出したことがない。	
	8	89	11			100					伝達ツールとして、LINEなどを使用して情報共有しやすい環境を作っている。
	9	78	22			88	6		6		
	10	89	11			100					
非常時等の対応	1	78	22			75			25		
	2	45	44	11		38	6		56		避難訓練などについて、定期的な実施を計画して取り組んでいく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	78	22								
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	78	22		基本は、拘束を行わない支援を大切にしている。						
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	89	11								
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	89	11		事業所内だけではなく、法人内でも共有できることはするように心がけている。						